

花 無 心

第 295 号ダイジェスト版 2025 年 9 月 発行

ひきこもり家族自助会とやま大地の会(設立 2001 年 3 月)

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

♪ 例会のおしらせ ♪



例会は、ミニ講演やグループでの分かち合いの場です。また個別相談会(希望者)も行っています。能登半島地震の影響もあり、県教育文化会館を会場として使わせていただいています。今後変更がある場合がありますので、

参加を希望される方は、本会のホームページでの確認をお願いします。

10 月 18 日(第 3 土曜日) 第 296 回例会 13:00

富山市舟橋北町 7-1 富山県教育文化会館 501 号研修室

高岡つくしの会との合同例会 講師は(一社)SHIP!代表理事、ジャーナリスト 池上正樹さんです。

11 月 15 日(第 3 土曜日) 第 297 回例会 13:30 富山県教育文化会館 503 号室

12 月 20 日(第 3 土曜日) 第 298 回例会 13:30 富山県教育文化会館 502 号室

01 月 17 日(第 3 土曜日) 第 298 回例会 13:30 富山県教育文化会館 502 号室

会費 正会員の 2021 年度からの年会費は 2,000 円。例会参加費無料。(振込料は各自負担です。)

非会員の方の、2021 年度からの例会参加費 200 円です。

駐車場について … 会館近く北東側に会館の駐車場があります。

◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所、福祉総合相談センター等で相談をしましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。

◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。

◎ご相談があれば、大地の会のホームページからお問い合わせ下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>

本会の各事業は、富山県、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

♪ 9 月例会報告

日 時: 9 月 20(土) 13:30~15:40 富山県教育文化会館 502 号室

参加者: 13 名(男性 6 名 {内体験者 1 名}、女性 7 名 {内体験者 1 名})のご参加がありました。

I あいさつと諸連絡

今日、ご参加いただき有難うございます。昨日で夏が終わったのかホッとした感じがします。8 月例会は 10 名参加と少ない会となりましたが、少人数でじっくりと語り合い、気持ちがおさまる会となりました。

今後も、参加者数にかかわらず、皆さまと協力して例会を継続していきたいと思ひます。

10 月例会『講演会』のお知らせ

18 日 13 時から(いつもより 30 分早く始めます) 富山県教育文化会館 501 号室にて

演題は「ひきこもりの現状~家族の気づき、本人に届く言葉」講師は、池上正樹さんです。

501 号室は大きな部屋です。皆様のご参加よろしくお願ひいたします。

皆様にお送りさせていただいた、当日の案内チラシですが、参加費欄を、空白としていました。“参加費はなし”なので、よろしくお願ひいたします。

II いつもの話し合い

全体での自由交流

・斉藤環先生の本を読み返していると、家族の本人への対応として、「本人が安心して、ひきこまれる環境づくりに尽きる」を、思い返した。

- ・本人が安心してひきこまれる環境作りと言われたが、自分ではそんなつもりはなくても、本人に言ってはいけない言葉を使ってしまっているかもしれないので、それを具体的に教えてほしい。
- ・具体的なことより、親の心遣いではないかと思う。
- ・親としても、常々落ち着いてばかりではいけないので・・・。
- ・相談者の立場からいうと、相談を「受ける／する」関係性になってしまうが、対話は生ものなので、そういう気持ちが伝わってしまうので、お互いの対話の中で、お互いの“ゆれ”の中で、気遣いながら、お互いの関係をつくっていかねばと考えている。
- ・ひきこもっていた当時は、家でリラックスできた日は、ほぼなかった。父が会社へ行っていた時間がリラックスできたとき。気持ちをぶつけられるところが、母親しかなかった。何が正解で、何がダメとかはないのではと考える。社会に出て、変わったことは、親以外にグチを言えるようになったこと。
- ・夫は息子への対応はきびしい。困っている。
- ・きずなと家族の健康を意識するようになった。そして、きずなは、大地の会、ハーモニカの会、パークゴルフの会に整理した。お盆に墓参りのとき、家族でラーメン屋へ入った。注文はタブレットだったので、息子が全部してくれた。そして、会話もはずんだ。
- ・今年の春にケガした。それから、家の中のことしかできず、外出は娘を頼るようになった。今、娘は大事な介護者になっている。
- ・8月に、県外の自宅に行っていた。
- ・子はこだわりが強い。私はきちんと整理しておきたいタイプ。共通部分を片付けられず困っている。勝手に片付けるなど怒る。

A班（7名）

お一人お一人がそれぞれの近況を語りました。緊張に満ちたお話しもあり、約1時間、密度の濃い交流ができたことのみ報告させていただきます。

B班（6名） 8050問題 「一人的支援について」

概要：1：一人老後の現状

最近、死後8日以上後に発見されたケース「孤立死」が問題に
親族に看取ってもらえず死後の葬儀さえしてもらえない事が珍しくない。

2：一人老後の支援について

身寄りに頼れない高齢者が増え、「高齢者等終身サポート事業者」の増加に伴い、高額契約などのトラブルも急増。国は支援を試行する自治体を募り、25年度は枚方市など26自治体を実施。

3：成年後見制度の現状

国は16年、民法を改正し、「社会通念上、(依頼を)拒むことが困難な場合がある」との理由から成年後継人による火葬や納骨の容認を明確に打ち出す。

4：成年後見人の本分は「死後事務」は出来ないが一般的だった。ところが射水市の行政書士Yさんは違法とそしりを受けるのを覚悟の上でそれを引き受け実施した。そして結果を家裁に報告。「とがめられることはなかった。」



話し合い

- ・今まではお金の問題に気が行っていたが、高齢者の見守りなど“公的サービス”が出来てくれればと助かると思う。
- ・終活事業をやってくれる制度が欲しいが、行政は全く人出不足なので、今は展望がない。
- ・後見人の方のお仕事は、終身サポートなど大変なのに、報酬額は月1万円と少ない。+αの報酬が必要。
- ・沢山引き受けられている後見人の方は大変だ。自分だったら、後見人の仕事は出来ない。
- ・後見人の方に、名義変更・財産管理・年金などどこまでお願い出来るか。

Ⅲ その他

1 例会では、十分に自分の話が出来ない。言い足りないことなど日常のあゆみなど

体験発表をしてみませんか？約20分間程度を予定しています。

2 投稿欄について

会員の皆様から、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。

富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00（要予約）

グループ相談を実施しています。

- ・ 本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・ 親グループ 毎月第2木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話：076-428-0616

場所：富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

IV 高岡つくしの会より（2003年設立）

- 10月 月例会 10月18日（土）1：00より
富山県教育文化会館 501室でとやま大地の会と合同例会
おとぎの森例会 10月8日（水）、25日（土）2：00から
おとぎの森こどもの家
- 11月 月例会 11月9日（土）1：30より 博労公民館
おとぎの森例会 11月22日（土）2：00～4：00



V 書籍・論文の紹介 ひきこもり・生きづらさ 社会課題を考える 『SHIP! 2025.vol.002 夏号』 特集：「生きづらさ」を生み出す正体

夏号も創刊号に引き続き、経験者、家族、支援者が「書き手」「編集」「デザイン」など雑誌作りを担う熱い思いが満ちた第2号です。

掲載されている、当事者手記の一つを紹介します。

『私が受けたいじめ後遺症 14歳で人生が奪われた学校』文：とし

私は14歳から26歳の時に、中学校に行けなくなったのをきっかけに「不登校・ひきこもり」になった当事者経験を持っている。直接の原因は、とても分かりにくい「いじめ被害」だった。・・・

著者は、「ひきこもり当事者グループの運営。その他関連活動にも広く参加。」と紹介されています。

ご本人の苦しい記憶を記載していただいたことに感謝の気持ちで一杯です。（やま）